

広報

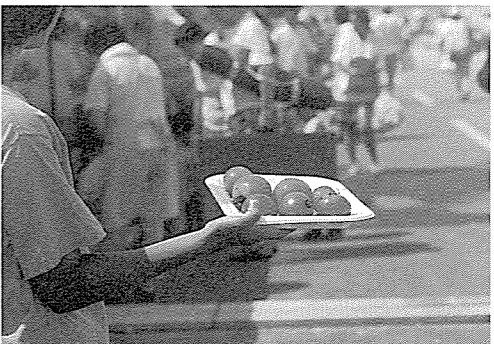
しんち

9

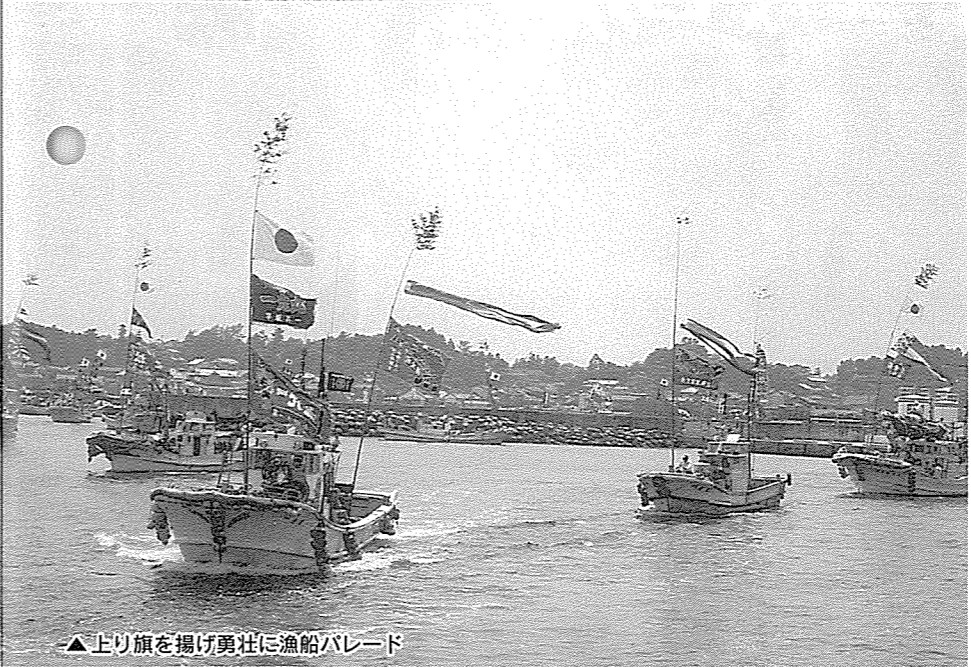
1997. No.315



「海のある町」を強く印象づけたイベントは、5年目を迎え、町民が主役の祭り〴〵に成長。



▲力を合わせて地引き網



▲上り旗を揚げ勇壮に漁船パレード



▲子供たちの人気を集めた大ビンゴ大会



▲ゲスト中川明ショーで盛り止がった歌謡ステージ



▲開幕を祝いカラフルな風船を一齐に放つ



▲ウズベキスタンの留学生も各種イベントに参加

冷夏の予想が一転して連日三十度を超す猛暑となった今年の夏。シーシーと鳴くセミの声を聞きながら二十歳を迎えた夏。海に映える花火の華麗さとはかなさのため息をついた夏。一流画家の芸術作品に酔いしれた夏。夜になるとどこからともなく祭りばやしの笛や太鼓の音が聞こえた夏。それぞれの思い出を残して今年の夏も終わりました。今回は、『遊海しんち'97の夏』を振り返ってみました。

5万人の観光客も大満足

八月二日、午前十時。花火を合図に今年も釣師浜海水浴場で『遊海しんち'97』の開幕です。当日は好天に恵まれ、延べ五万人

もの観光客が詰め掛ける盛況となりました。

今年も、地引き網、ビーチバレーボール大会、漁船パレード、

ホッキ狩り、花火大会など盛りだくさんのイベントが用意されました。また、ふるさと地場産品会場は漁協の西側に設置、道路を挟んで両側に出店がずらりと並びました。



▲特産品販売の出店がずらりと並んだ

多彩なイベントに沸く

砂浜で行われた「地引き網大会」には大勢の観客が参加、潮風をいっぱい肌を感じながら地引き網を楽しみました。網の中



▲カキ水早喰い競争も人気を集めた

に大きなスズキやイシモチ、サバなどはいっているのを見て、子供たちは歓声を上げていました。

正午には大漁旗を立てて約六十隻の漁船が釣師浜海水浴場から相馬港5号ふ頭にかけて勇壮にパレード。恒例の小学生によるヒラメの稚魚放流も行われました。

写真コンテストには約三十人が参加、イベントの様子やモデルの水着姿など盛んにシャッターを切っていました。

商工会青年部による大ビンゴ大会や宝さがし、ビーチフラッグス大会など子供からお年寄りまでが楽しめるイベントとあって、予想以上に参加者が多く、うれしい悲鳴をあげていました。さて、ホッキ狩りの時間になるとどこからともなく人が集まり、

砂浜に勢揃い。花火を合図に約五千個まかれたホッキを夢中で

拾っていました。

海に映える一千発の花火が 夜空を焦し、観る者のため息誘う

午後六時、今年初めて行われた光の造形。二千個の紙袋に砂をつめ、中にロウソクをともし、まるで砂の光のページェントの

ようです。段々暗くなるうちに光りは増し、幻想的な一種独特の世界を作り出します。それを眺めながら、花火大会を待ちま



▲花火を待つ間、砂の光のページェントを見つめる観光客

釣師浜海水浴場周辺に人が集まって来ました。交通指導員や係員が無線で駐車場の様子を連絡しながら、交通整理に当たり、地元消防団が警備につきました。七時三十分。花火大会が始まり約一時間にわたり約千発の花火が打ち上げられました。訪れた観客のため息を誘い、弾ける光の粒と大音響が潮の香りとともに巡って来た夏のだご味と



▲観客のため息を誘った花火大会

ステージイベントで 女性パワー全開!!

それにしても婦人会の皆さんの芸達者なのは感心しました。

おもしろいなんのって。あのエネルギーはどこから出てくるの



▲婦人会の皆さんが次々と繰り出した踊りと唄



▲山元町のバンドの皆さんも出演

だろうか。新地、福田、駒ヶ嶺各地区の婦人会の皆さんが次から次と繰り出す踊りや唄、芝居。また、木村孝之さんと森克雄さんのユーモアにあふれた「矢切の渡し」など、会場を大いに沸かせました。今回はゲストに宮城県出身の歌手の中川明さんを迎え、予定時間をオーバーする熱唱に観客も魅了。思わず舞台上がり一緒にダンスを楽しむ姿なども見られ楽しいひとときでした。後半にステージイベントをもつて来たことで、夕方まで観客が帰らず、地場産品の販売や夜の花火大会につながったことは大きな収穫でした。女性が元気な町は活性化します。来年もまた楽しみます。

若者たちが熱く燃え、 熱戦繰り広げたビーチバレー



▲好ゲームを見せたビーチバレー

毎年出ているというアタッカーズ(写真左)は今年も一回戦敗退。しかし、「参加することに意義があるんです。来年もきつと来ます」と敗れても爽やかな笑顔をふりまいて去っていました。

今年は大阪国体強化チームも特別参加。格の違いを見せつける形になりましたが、むしろ大会が引き締まりこれまでで一番盛り上がったようでした。来年はあなたもチームを結成し参加してみませんか。

来年は あなたも参加を



▲一回戦敗退も爽やかアタッカーズ。

ビーチバレーボール大会結果
◎一般の部
優勝 ・クジラ・チーム駒・ア
ーバン
準優勝 ・ぜんちゃんず・周クリ
ーム・ビーチボーイズ
◎飛び入りの部
優勝 ・真吾とゆかいな仲間たち
準優勝 ・ビーチバレー

「遊海しんち'97」が無事終了翌八月三日の早朝、釣師浜海水浴場には多くの実行委員の姿がありました。午前六時に集合し、後片付けです。打ち上げで大いに盛り上がり朝の三時まで飲んでいたというメンバーも、目をこすりながら元気に参加してきました。「ともかく無事終わった」という安堵感がメンバーの間に漂っていました。

「イベントがあるの知らないでここに来たけど、今日は超ラッキーな日!」などとハシチャイでいた女の子たちの姿はもちらんありません。人の波と騒音に疲れ、汚れきった海と砂浜がそこにあるだけでした。実行委員の仕事は、テントを片付け、ごみを拾い、もうすぐ訪れてくる海水浴客のために元どおりの釣師浜海水浴場に戻してあげる



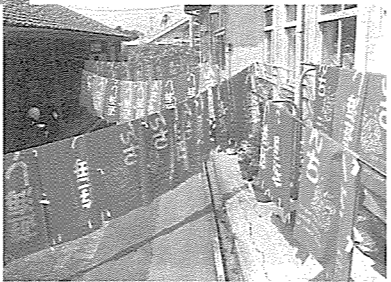
▲何度も打ち合わせを行った実行委員

遊海しんち'97を終えて



▲翌朝、「光の造形」24個の片付けは大変そう

▼来年また使用される遊海しんちの旗



特に、婦人会の舞台にかける熱意や商工会青年部の新しいアイデアによる趣向を凝らした企画が光りました。また、海の祭りを裏で支え続けた漁協青年部、体育指導員や交通指導員、消防団等など、イベントを通じて地域住民の連帯が感じられました。

「何だかずつと起きていたような気がする...」。屋外のイベントは天候次第と言われますが、当日は晴天に恵まれ、また新たなイベントや出店者の数も大幅に増え、これまでにならぬ盛り上がりを見せてくれました。実行委員のメンバーもほぼ固定していることもあり、気が知れスムーズな運営でした。

イベントは常に町の経済にどう効果があるかと問われがちですが、最も重要なことは町民自身が参加して作り上げるといって、「心の活性化」の方がはるかに大切だと信じます。さて、来年第六回目を迎える実行委員会の皆さんにとって、「マンネリ化との戦い」でもありません。来年の夏を楽しみに...。ご苦労さまでした。

現代を代表する画家たちの初期の作品を展示した「吉川コレクション」展が八月八日から十二日まで、農村環境改善センターで開かれ、約八百人が鑑賞しました。静岡市で寿司店を営んでいた故吉川勝次さんが生前に集めた現代作家の作品の数々を、親交のあった町出身の画家で女子美術大教授の齋藤研さんらの尽力によって、初めて公開されたものです。

その光と影を追う

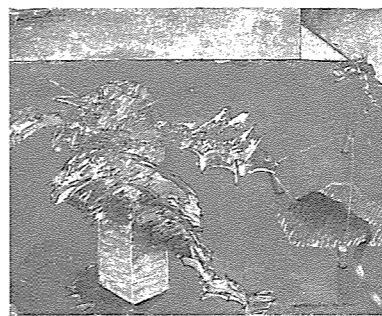
吉川コレクション

「吉川コレクション」のきっかけは、新地町で高校時代まで過ごした女子美術大教授の齋藤研さん(埼玉県川越市)が、知人の吉川勝次さん(静岡市)の遺志を受けて、氏が長年にわたって収集してきた絵画を、ぜひ新地町で一般公開したいと、町に申し出たことから始まりました。吉川さんは静岡市で寿司店を営み、昨年七月に七十二歳で亡くなりましたが、昭和四十年代前半から昭和五十年代前半にかけて、当時、新進気鋭の作家で今や現代美術界をリードする齋藤さんや東京芸大教授の絹谷幸二さん、明星大教授の佐々木豊さん、女子美術大教授の林敏一さん、女流画家の馬越陽子さんら若き日の作品約百五十点を収集していました。吉川さんはそれをだれの目にもふれさせることはなかったといえます。しかし、絵は、描かれる人(物・風景)と、描いた人と、さらにそれを求めて、絵を見る人がいて、初めて作品として完成する、と考える齋藤さんにとって、「吉川コレクション」の公開は「画家」としての齋藤さんの願いでした。

吉川さんが亡くなる二日前、突然、吉川さんから齋藤さんへ電話がありました。コレクションをどうしようかという相談でした。齋藤さんは即座に、自分の古里、新地町に主催してもらって展覧会をやりましょうと提案しました。吉川さんの死後、妻の綾子さんの許可を得て、今回、新地町教育委員会の主催で、念願のコレクション展にこぎつけたのでした。

生きるというのを 浄化してくれるような 不思議な絵の数々

会場に展示された作品は五十点。そのほか、吉川さん自身が晩年密かに描き続けた作品の中から十七点が展示されました。じっと見ていると、絵の中から作家の鼓動が聞こえてくるようです。それは叫びであったり、願いであったりして、見る者の感覚を刺激してくれます。何か、生きるというのを浄化してくれるような不思議な絵の数々です。生前の吉川さんは、それらの作品を時々出してきては、一人で酒を飲みながら眺めていたそうです。絵に魅了された吉川さんにとって、やすらぎの一時だったのでしょうか。



▶長野冬期オリンピック公式ポスターを制作した絹谷幸二さんの若き日の作品

死後初めて吉川さんの作品を見た齋藤さんは「吉川勝次氏に寄せて、こう述べています。『吉川さんは、私が世に出る前、苦しい時代に作品を買ってくれた芸術家の卵達を援助してくれた人だった。そのことで当時、大変勇気づけられたものです。今日の私があるのも、吉川さんに育てられたからだと思います。』そして、また、驚くべきことには吉川さん自身が絵を描く人だったということです。数冊のスケッチブックに鉛筆や水彩絵具、クレヨンなどを使って様々な絵が描かれていました。富士山を望む風景の中に突如宇宙船のようなものが飛行していたり、現実と架空、空想と幻想が共存し、溶け合った摩訶不思議なイメージにあふれていました。

こと」と題して、「思いがけないことに、吉川さん自身の作品に出会いました。約十年間の百五十点にもほるコレクション活動は、コレクターとしての吉川さんにとっても、対象となった画家達にとっても、人生の重要なひとコマとして記念されるべきことだったと思います。そして吉川さんのそれ以前の活動はすべて、このための準備だった

絵を愛し続けた吉川さんの 強烈な人生を感じさせた 展覧会だった

ということがわかりました」と述べています。かつて、吉川さんは、齋藤さんにも絵を描いたとは一言も話しませんでした。描きたいという話もしなかった。とにかく画家たちを激励して、寿司を御馳走してくれたのでした。八月十日には町関係者や齋藤さん、出展作家の馬越陽子さん、吉川さんの妻綾子さん、埼玉県

の「川越市に美術館を建設する市民の会」の代表など約五十人が訪れ、にぎやかにレセプションで開幕を祝いました。吉川コレクションは現代を代表する一流作家の興味深い初期の作品展であると同時に、吉川勝次さんという絵を愛し続けた一人の人間の強烈な生き方を印象づけたコレクション展といえるのではないのでしょうか。

「死なない絵」を描きたい

吉川さんは私がまだ学生時代、私の絵を最初に認めてくださったって、買っていただいた方です。絵が売れるなどと考えてもいなかった私にとって、驚きであると同時に、吉川さんの存在は心強く、また、多くの勇気をいた

できました。十年ほど前、深夜に突然に電話をいただき、あなたの父が夢枕に立って、娘に「死なない色」を使って絵を描くように伝えてほしいと言われたと言っ、具体的にその色彩をあげました。この予期せぬ霊界からの使者に、私は不思議な思いに包まれました。その時告げられた色彩は脳裏に刻み込まれ、私のパレットの秘密の色になっていきます。吉川コレクションに加えられた私は「死なない絵」に近づくよう、これから絵を描いていきたいと思っています。



馬越陽子さん (独立美術協会会員) |レセプション会場でのあいさつから(写真中央)



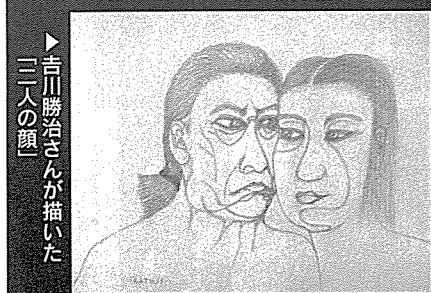
▲8月10日に行われたレセプション



▲挨拶する齋藤研氏(右)と吉川綾子さん(左)



▲著名な作家の若き日の作品をじっくりとみつける入場者



▶吉川勝次さんが描いた「二人の顔」



▲特養しんちホームの入所者らも訪れた

▶齋藤研さんが描いた吉川さん夫妻「フナイル」2000号

盆踊りで後継者育成と世代間交流

～真弓地区盆踊り大会～



見事なバチさばきをみせた林良章くん

今年も各地区で盛大に盆踊り大会が行われました。真弓地区では(林茂男区長)地域おこしとして毎年盆踊り大会を行っていますが、今年も八月十三日に真弓地区多目的集会所前でにぎやかに開催されました。

真弓地区では、盆踊りの太鼓や笛、唄の後継者育成を通じて地域の親睦を深めてきました。後継者育成会責任者の林隆雄さんは「笛や太鼓を叩いてくれる人たちはもう高齢で後継者を育てていかなければならないと考え、昨年から若い人たちを集めて指導を行ってきました。夜、多目的集会所で練習しているのですが、何よりも若い世代との交流がうれしい」と話してくれました。

今年の盆踊りで大人に混じってやぐらに登り太鼓を叩く子供が登場して周りもびっくり。福田保育所に通う林良章くん五歳です。良章君の父の良一さん、祖父の梅男さんと親子三代で太鼓を叩き、祭



▲盛り上がりみせた真弓盆踊り大会

りを盛り上げました。林区長さんは、「小さいうちに素質をみつけてあげること、はとも素晴らしいこと。今後、後継者育成の和を広げていきたい」と意欲を燃やしていました。

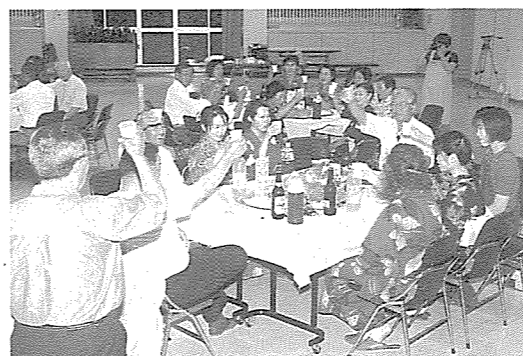
真弓地区の盆踊りも今年で九年目。盆踊りを通じての世代間交流はまだまだ続きそうです。

親子三代太鼓で盛り上げる

国際交流の会 留学生を歓迎

新地の文化や風俗を学ぼうと、ウズベキスタンからの留学生が新地町を訪れ、八月二日には農村環境改善センターで国際交流の会(加藤直義会長)主催で歓迎のレセプションが行われました。会員ら四十人が参加し、浴衣姿の留学生らが、太鼓にあわせて相馬盆踊りを踊り、新地の文化を体験していました。

今回訪れたのは、福島市にある福島女子短大に留学中のカザレ



▲国際交流会が歓迎レセプション



▲相馬盆踊りで楽しく交流会

ズ・レーナさん(二十歳)とツラエバ・ジリバラさん(二十歳)の二人で、新地から七千四百キロ離れたアジアのタシケント市からやってきました。二人は「遊海しんち97」などのイベントにも参加しました。

寺島幹雄さん(小川)が「福島県・ウズベキスタン文化経済交流協会」の副会長をしていることもあり、毎年何人かのウズベキスタンからの留学生が新地町を訪れています。彼女らの目に新地町はどのように写っていたのでしょうか。

平成9年度成人式 笑顔の旅立ち

二十歳の門出を祝う「平成9年度新地町成人式」が八月十五日、農村環境改善センターで行われ、百六十二人(男性八十人、女性八十二人)が晴れて、大人の仲間入りをしました。

式には、新成人百十七人を始め、来賓、町・議会関係者など約二百人が出席。お母さんコーラス「コールしおさい」のリードによる新地町の歌の後、荒和英町長が「本日を新たな起点として、揚々なる前途御発展を期待しています」と式辞を述べ、来賓の寺島洵一議会議長、加藤貞夫県議会議長の祝辞に続いて、新成人を代表して加藤友里恵さんが「ここまで育ててくれた親と、温かい目で支えてくださった方々に大変感謝します。今後は、微力ながらも町づくりの一翼を担えればと思っております」と答辞を述べました。続いて、十人の新成人が壇上に立ち成人の主張を行い、二〇歳を迎えるの喜びや抱負を述べました。式の後、相馬市在住のフリーライター 新妻香織さんを迎え、



▲フリーライターの 新妻香織さんが記念講演

「夢は叶える為にある『アフリカ二十八カ国を旅して』と題して講演が行われ、新妻さんはアフリカ大陸二十八カ国を旅してのつらかった事や温かい地元の人達との交流などの体験をもとに、「あなたが夢をあきらめなければ、夢は必ず叶います。夢を叶えるためには、自分の意志を示し、常にチャレンジする気持ちを持ち続けて行動して下さい」と新成人に激励の言葉を送っていました。



▲答辞を述べた加藤友里恵さん

成人を迎えて

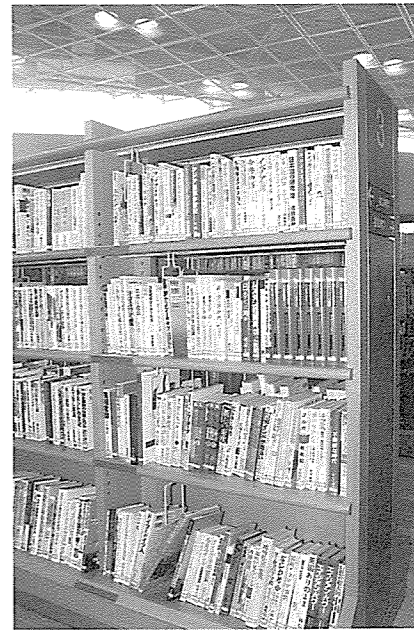
★ 私は現在大学で教育を学んでいます。最近、中学生による残酷な事件が起こり世間を騒がせています。自分達の時とは時代も子供達も変わっています。これからの社会を担う一員として私達ができること、それを考える権利と義務が与えられるようになりました。自分の身を守るから世界の様々などどこに目を向け、新しい時代を作っていくべきか、と思います。そのためにも、今までもりも周りのことに敏感になりたいと思います。

★ 高校卒業と同時に就職しました。二年目に入って、やりがいがある分、来てました。周りの人たちは「若いのが好きな道に進めば、苦勞もそれほど感じません。若い時こそ自分の好きなことにチャレンジできると思います。この新地町に、若い農業者がもっと増えるといいなと思っています。」

書架No.3は社会・科学の棚

秋の夜長、読書を楽しもう!

読書を楽しもう!



▲書架No.3は社会・科学の棚

今回は書架No.3の社会科学の棚にある本について、紹介します。この棚には、政治経済、教育についての、わかりやすい本が沢山あります。

まず、初めて仲人を頼まれた人や、経験豊富な仲人さんにも、「はじめての仲人媒酌人」と、言語の棚にある「あいさつスピーチ実例集」をセットで読んでみてはいかがでしょうか。

「父から学んだこと父として教えること」など今すぐ実践できる本まで。もちろん福祉や日本の経済についての本もありますので、まだ図書館に来たことのない人も一度のぞいてみてください。

9月のカレンダー
日 月 火 水 木 金 土
1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30
●は定休日

健康ウォークラリーにあなたも参加してみませんか。
中塚 文子 保健婦長



こんにちは保健婦です



シンティア先生のハローエブリワン

私は、いつも日本の歌舞伎について観たいと思っていました。最近私は、友達と一緒に東京に歌舞伎を観る機会がありました。わずか1,500円でしたが、後ろの方で良い席があり、ステージがよく見え、2時間観ました。勿論私は、言葉はわかりませんでしたが、とても興味をもって動作や衣装、音楽などを聞いていました。私は、歌舞伎がとても好きになりました。もっと長いいたかったのですが、新地に帰るために汽車に乗らなければいけませんでした。私は、歌舞伎は日本で歴史的に重要性をもっており、とてもユニークであるのでとても大好きです。日本人々は、日本に歌舞伎というものがあって、とても、ラッキーですね。

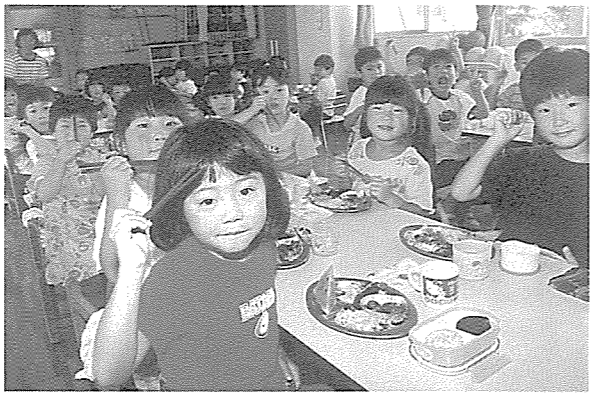
Cynthia Hanada

* 英語指導助手・シンティア先生の文章の日本語訳は、尚英中学校の松田勘太先生にお願いしています。

保育所から こんにちは



駒ヶ嶺保育所



おはしを上手に使うって楽しく食事
「ごあいさつしましょう」
「いただきます」元気なあいさつ
の後、楽しい食事が始まります。
あたたかく、いろいろどりもきれいに盛り付けされた給食は、子供たちの食欲をそそります。
「家では食べられない

お父さん、お母さん、お善の持ち方、ちょっと見てあげてね!

子供のしぐさ

A子「先生、私、蚊に食べられちゃった。O型とB型が食べられるんだって。先生は何型?」
B母「先生はA型だよ」
T君「Tは(自分のこと)ビービー」
「泣くから、ビー型(B型)だよ」

9月の行事
●運動会 各保育所
●13日(土) 各保育所
●保育所開放日
25日(木) 各保育所



目標を一日一万歩にしましょう。効果としては血圧が安定し、善玉コレステロールが増え動脈硬化を予防する。肥満を防ぎ足腰が鍛えられる。
また、ストレスも解消し心身ともにさわやかになり、若さを保つことができます。
当町では健康づくりの一環として、五月にジョギングインストラクターの佐間田先生から正しい歩き方の指導を受け大変好評でした。そこで、健康福祉まつりのイベントで、健康ウォークラリーには佐間田先生の講演と実技指導を受け約六キロの道程と一緒に歩きます。
大勢の方の参加をお待ちしています。

ゼロ 虫歯0の子供たち

このほど行われた3歳児健診で虫歯0(ゼロ)の子供は19人中9人でした。

森 一樹くん (杉目)
酒井 拓也くん (作田)
小野 綾花ちゃん (大戸浜)
東 真也くん (大戸浜)
渡辺 海くん (釣師)
山内 隆祐くん (高田)
丸山 紘輝くん (新地町)
水戸 千春ちゃん (新地町)
太田 健蔵くん (釣師)

ザ・フォト・スクランブル

あなたの周りの身近な話題をお寄せください。



▲楽しいやりとりもお盆市の魅力

活気にあふれ お盆市にぎわう

毎年恒例となっている新地朝市出店者会が主催のしんちお盆市が八月十二日の夕方、農村環境改善センター前で開かれ、大勢の町民でにぎわいました。会場には十五店が出店し、花木、野菜、青果、鮮魚、手作り竹ぼうきなどが所狭しと広げられ、訪れた人は品定めをしていました。会場からは「もうだいたい涼しくなったね」「お盆の準備はできたがい」など和気あいあいとした世間話も聞こえてきました。

「夏休みふれあい広場」 お年寄りと児童が

ゲートボールで交流

新地町防犯協会福田支部主催の「夏休みふれあい広場」が八月十二日、福田小学校で行われました。このイベントは、子供たちとおじいさんやおばあさん、地域の方々と交流を図り、今後も安全で安心して暮らせる地域作りを目指して毎年行っているものです。福田小学校の児童約八十人が参加し、相馬警察署生活安全課の署員の防犯講話の後、福田老人会の指導でゲートボールやグランドゴルフの競技を楽しみました。慣れないゲートボールに始めは悪戦苦闘の子供たちでしたが、お年寄りのアドバイスを受けると上手にゲートを通り過ぎて、笑顔を見せていました。



▶子供たちにアドバイスを送るお年寄り

爽やかに夏を過ごして

特養で散髪ボランティア

お年寄りの方々に爽やかにお盆を過ごしてもらおうと、散髪のボランティアサー비스が、八月十一日特別養護老人ホームで行われました。このサービスは毎年お盆と暮れの二回行っているもので、今年で五年目になります。この日は、新地理容組合女性部と有志の6人がホームを訪れ、お年寄り四十五人の散髪を行いました。理容師さんに髪形をおまかせするおじいさんやいれば、自分の好みの髪形にカットしてもらい「毎日暑かったのでとてもすっきりしました。とてもいいあんばいです。ありがとうございます」と満足顔のおばあさんもいました。このボランティアは今後も続けられるそうです。



▶スッキリとカットしてもらったお年寄り

第二回町内施設巡り&懇談会

町づくりを実際に見学

ふだんあまり見ることのできない施設を直接見て、町づくりに関心と理解を深めてもらう今年二回目の「町内施設巡りと懇談会」が八月十三日に行われ、帰省客や町民二十七人が参加しました。参加者は一般廃棄物最終処分場、リサイクルセンター、特養しんちホーム、新地発電所、新地城(袁首城)跡の各施設を見学。午後からはわくわくランドの集会所で荒町長といっしょに昼食、懇談会が行われ、「観海堂に水道を設置してほしい」「新地城を見学し、遠い昔に想いをはせました」「リサイクル施設を見て意識が変わった。今後は家庭から出るゴミを減らすよう努力していこうと思」などの質問や意見が出ていました。



▲新地発電所から5号心頭を見学

県民スポーツ九人制バレー ボール、新地クラブが優勝

第五十回福島県総合体育大会県民スポーツ相双地域大会が八月三日、富岡町を会場に行われ、九人制バレーボールに出場した「新地クラブ」(監督、斎藤千鶴子)が決勝戦で大熊町を二〇で下し、見事優勝しました。この大会は、県民の健康増進と体力の向上を図るもので、相双地方から六百の方が参加しました。新地町からは、九人制バレーボール、壮年ソフトボール、卓球のそれぞれの競技に出場し、選手達は真夏の暑さにも負けずスポーツに爽やかな汗を流していました。新地クラブのメンバーは八月七日に町長室を訪れ、喜びの優勝報告をしました。



▲熱戦を繰り広げたバレーボール大会

第二回伊達開拓「ふるさと従兄弟(い〜ん)」 スポーツ祭巨理大会で スポーツ少年団が交流



▶伊達藩ゆかりの5市町スポーツ少年団が交流

旧伊達藩にゆかりのある五市町のスポーツ少年団による「第二回伊達開拓・ふるさと従兄弟(い〜ん)スポーツ祭」巨理大会が八月九日・十日の両日、巨理町で開かれ、約千二百人が参加しました。ふるさと姉妹都市・歴史友好都市の提携をしている北海道伊達市と新地町、宮城県巨理町、山元町、柴田町の五市町は、平成三年から毎年「ふるさと従兄弟(い〜ん)サミット」を開催し交流を図っています。昨年度から民間レベルによる交流事業も併せて進めていこうと、各スポーツ少年団によるスポーツ交流大会を開催。参加者同士の親睦と融和を図り、心身の健全育成を目的に実施されました。当日は三十度を越す暑い一日となりましたが、新地町スポーツ少年団はサッカー、柔道、剣道、バレーボール、野球に出場、各会場で熱戦を繰り広げました。

斎藤研画伯の弟子 吉田喜代美さん初の個展

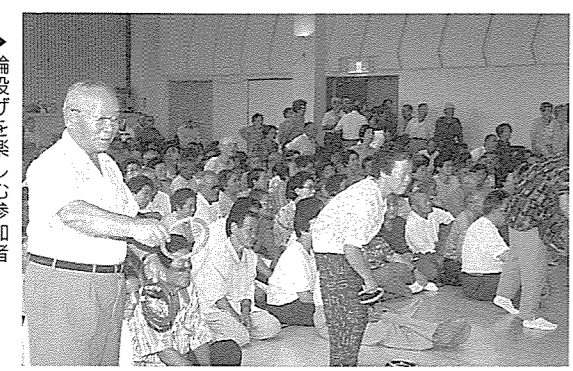


▶ぎやらりーセレで開かれた個展

埼玉県在住の吉田喜代美さんの初めての個展、「吉田喜代美展」が八月八日から十二日にかけて行われ、坂元郁夫さん(釣師)宅の「ぎやらりーセレ」で、日本画とデッサンを中心に十二点の作品を展示しました。吉田さんは新地町出身の斎藤研先生のもとで十五年デッサンの勉強を続け、農村環境改善センターで行われた「吉川コレクション」に期間を併せて個展を開催したものです。吉田さんは、「新地町には今でも頻りにスケッチに訪れています。新地の風は素敵です。ぜひ新地の風を表現出来るようになりたいですね。期間中は多くの方が訪れてくれました。ありがとうございます」と話していました。

老人クラブ連合会 輪投げで楽しく健康作り

お年寄りの方々の健康と交流を図ろうと、新地町老人クラブ連合会主催の輪投げ大会が八月二十六日、農村環境改善センターで行われました。手軽にできるスポーツとあって、お年寄りたちの中で輪投げはとても人気があり、会場には町内の老人クラブの方、四百人の方が集まりました。「輪投げをするのはとても楽しいです。でもこうして大勢の仲間が集まるのが一番の楽しみなんです」と、お年寄りたちはみんな笑顔で輪投げを楽しんでいました。結果は、団体の部は百一点で新地町地区Aが、個人の部は三十五点で小野与一さん(中島)、最高得点者は四十二点で木村三雄さん(浪民)が優勝しました。



▶輪投げを楽しむ参加者



公民館・勤労青少年ホーム



▲書道教室

9月	書道教室	時間	会場
10日(水)	書道教室	(午後1時30分)	駒ヶ嶺公民館
11日(木)	たんぽぽ広場	(午前10時)	わくわくらんど
17日(水)	着付教室	(午後1時30分)	勤労青少年ホーム
18日(木)	3日体操	(午後1時30分)	駒ヶ嶺公民館
19日(金)	園芸教室	(午後1時30分)	駒ヶ嶺公民館
20日(土)	手編教室	(午前9時)	新地公民館
21日(日)	パッチワーク教室	(午後1時30分)	新地公民館
22日(月)	料理教室	(午前9時)	駒ヶ嶺公民館
23日(火)	自然散策教室	(午後1時30分)	新地公民館
24日(水)	3日体操	(午後1時30分)	駒ヶ嶺公民館
25日(木)	陶芸教室	(午前9時)	新地公民館
26日(金)	生花教室	(午後1時30分)	駒ヶ嶺公民館
27日(土)	たんぽぽ広場	(午前10時)	保健センター
28日(日)	ことぶき大学	(午前9時30分)	勤労青少年ホーム
29日(月)	ことぶき大学	(午後9時30分)	新地公民館
30日(火)	手づくり夢ランド	(午後1時30分)	勤労青少年ホーム
10月	鹿嶋山親子ふれあい教室	(午前10時)	相馬開発記念緑地
1日(水)	ことぶき大学	(午前9時30分)	駒ヶ嶺公民館
2日(木)	手編教室	(午後1時30分)	駒ヶ嶺公民館
3日(金)	パッチワーク教室	(午前9時)	新地公民館
4日(土)	生花教室	(午後1時30分)	駒ヶ嶺公民館
5日(日)	書道教室	(午後1時30分)	駒ヶ嶺公民館
6日(月)	たんぽぽ広場	(午前10時)	新地公民館
7日(火)	カラオケ教室	(午後7時)	勤労青少年ホーム
8日(水)	着付教室	(午後1時30分)	駒ヶ嶺公民館

暮らし

秋の全国交通安全

秋の全国交通安全運動が9月21日(日)から9月30日(火)までの10日間、全国一斉に繰り広げられます。

ドライバーの皆さん、日ごろから思いやりのある運転を心掛けてみましょう。

また、高齢者の皆さんは外出のときは、明るい服装を着用したり、反射材を付けたりなどして、事故に遭わないよう注意してください。

運動の重点

暮らし

敬老会

町敬老会が9月15日(月)、農村環境改善センターで行われます。今年の招待者は70歳以上の方です。

自動車点検整備推進運動

皆さん、自動車の日常点検は忘れずに行っていますか。定期的な点検整備もきちんと実施し



- ① 高齢者の交通事故防止
 - ② シートベルトの着用の徹底
 - ③ スローガン「いつてきます時間と心に ゆとりもち」
- 総務課 (☎内線48)

敬老会

町敬老会が9月15日(月)、農村環境改善センターで行われます。今年の招待者は70歳以上の方です。

高齢者作品展

(手作り掛け軸など老人クラブの方々の作品を展示)

参加者募集中!

ジヨギングインストラクターの佐間田先生が「上手な歩き方とストレッチ」と題して講演、その後、町内を歩く健康ウォークラリー(6キロコース)を実施します。コース途中、ピンゴゲームや埴浜神楽披露など楽しいイベントもあります。

◎7月の火災発生状況及び救急出場状況

市町村別	火災			救急		
	発生件数	累計件数	前年比	発生件数	累計件数	前年比
相馬市	1	13	-13	55	462	-47
原町市	0	13	-5	97	556	+28
小高町	2	7	+2	37	158	+12
鹿島町	2	10	+3	18	126	-12
新地町	0	0	-6	17	118	-10
飯館村	0	3	-5	22	120	+3
管轄外	0	0	±0	0	0	-1
合計	5	46	-24	246	1,540	-27

9月9日は救急の日

参加しましょう

応急手当講習会

9月9日は「救急の日」です。また、9月7日から9月13日までは「救急医療週間」が実施されます。

新地分署では、応急手当での普及啓発を推進し、住民の救急業務の理解と認識を深め、傷病者の救命効果を高めるため、人工呼吸法や心臓マッサージなどの講習会を実施しています。各地区やグループで受講者がまれば逐次開催しますので、この機会に皆さんも参加してみませんか。

新地分署 (☎2117)

就業構造基本調査にご協力ください

平成9年10月1日、就業構造基本調査が行われます。この調査は、我が国の就業・不就業の実態を把握するために、全国で約43万世帯の15歳以上の方が調査の対象となります。

町の調査対象地域は新地町・中島・釣師・今泉の一部の地域です。9月下旬に調査員が訪問します。調査員は鈴木一夫さん・後藤顯一さん・片平洋子さん・竹澤正美さんです。

問い合わせ 企画振興課 (☎内線63)

犬も猫も一生涯生きていく問題は飼いのマナー

犬、猫に関する苦情が増えていきます。ふんの後始末、鳴き声などで周囲に迷惑をかけるようになりましょう。

● 隣近所に悪臭や鳴き声で迷惑がかかっていますか。

● 毎日、運動をさせていますか。

● 散歩中にふんをした場合、家に持ち帰りましょう。

● 動物は家族の一員として愛情と責任を持って飼ってください。

町民課 (☎内線23)

募 集

相馬方部衛生組合職員(助産婦及び看護婦)

職種 助産婦、看護婦(士)

採用予定人員 若干名

受験資格 昭和37年4月2日以降に生まれた方で、助産婦看護婦の免許を有する方、又は平成10年3月卒業見込みの方で、同免許取得見込みの方

試験方法 作文、面接試験

開設

訪問看護ステーション

相馬方部衛生組合では、10月1日から「訪問看護ステーション」を開設します。

訪問看護とは、病气やけが、寝たきり等により家庭において継続して療養を受ける状態にある方に対し、かかりつけの医師が必要と認めた場合、看護婦が家庭にお伺いし在宅医療の支援を行うものです。詳しい内容については、ステーションにお問い合わせください。

問い合わせ ☎976相馬市小泉字高池357(相馬市総合福祉センター内) 相馬方部訪問看護ステーション ☎63333

暮らしの情報



新地町

〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40番地
TEL 0244-62-2111(代表)
FAX 0244-62-3194

E-mail shinchi@soma.or.jp
http://www.soma.or.jp/~shinchi/

イベント

'97健康福祉まつり

「すっきり、すこやかヘルシーライフ」をテーマに、健康福祉まつりを9月14日、保健センター、農村環境改善センターで行います。皆さん、会場に遊びに来てね。

▼日時 9月14日(日) 午前8時30分～午後4時

▼場所 保健センター、農村環境改善センター

▼プログラム

●開会式・表彰式 (国保関係、社会福祉協議会関係)

●ヘルシー模擬店



▲5月に行われた健康講演会

●体力測定 (筋力、瞬発力、肺活量、柔軟性などを測定)

●福祉用具巡回バス展示 (寝具や入浴補助用具などに実際に触れてみてください)

●受付 9時30分より 農村環境改善センター

●講演 10時30分 農村環境改善センター

●出発 11時30分

●解散 午後3時

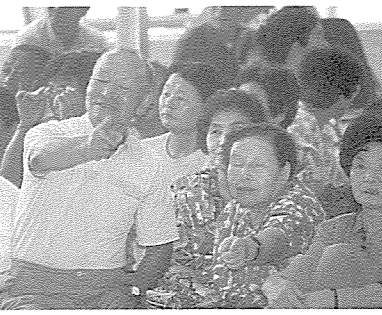
●その他

●記念品などの準備がありますので、9月8日(月)まで申し込み下さい。

●雨天の場合は室内でストレッチと歩行の指導を行います。

●当日は、各自で昼食、タオル、運動靴を準備して下さい。

●申し込み 保健センター (☎2096)



▲老いても心はいつも「青春」

方1,410人です。式では88歳、90歳の方に長寿杯贈呈、結婚50年を迎える65組の夫婦に結婚夫婦表彰などを行います。また、アトラクションでは、昨年に引き続き藤崎劇団を予定しています。

問い合わせ 健康福祉課 (☎内線26)

▼試験期日 10月23日(木) 午前9時

▼会場 相馬市労働福祉会館

▼受験手続き 申し込み用紙交付及び手続きは相馬方部衛生組合事務局総務課(相馬市役所2階)まで

▼受付期間 9月9日(火)～10月9日(木)

▼合格発表 11月20日(木)

▼問い合わせ 相馬方部衛生組合事務局総務課(相馬市役所2階) ☎4124

消息

(7月19日～8月20日届出)

お誕生 おめでとう

(子供)	(親)	(地区)
可歩 靖諱と聡理京	安戸浩一郎・みのり	新地町
清也	三浦宏美・由里子	釣師
諱と聡理京	八巻則夫・てる子	菅谷
亮沙馬	古山靖彦・泉美	新地町
	山元光雄・留美	小川
	三浦 宏・和香子	明地

ご冥福をお祈りします

(死亡者)	(年齢)	(地区)
荒清子	63才	明地
石田卷子	63才	小川
田邊邑子	61才	明地
寺島市太郎	86才	釣師
寺島テル	85才	小川
菅野喜次郎	86才	藤崎

※この欄に掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。

町では、町営住宅の入居者を募集します。



募 集 町営住宅 入居者募集

ための勤務時間短縮等の措置を導出した事業主に対しても助成措置が設けられました。

▼募集団地 高見原団地(駒ヶ)

親子ミニ運動会

わくわくランド イベント案内

新地発電所わくわくランドでは、「親子ミニ運動会」を開催します。8種類の楽しい種目を予定しています。参加は無料で、予約も要りません。雨天時は一部競技種目を変更して、「屋内ふれあいホール」で午前10時30分～12時に実施します。



▲8月に行われた「夏まつり」

▼日時 9月28日(日) 午前10時～午後3時
▼場所 わくわくランド(屋外「いこいの広場」)
▼内容 たからもの運び、障害物競走、スイカ割り、二人三脚など
●問い合わせ 相馬共同火力新地発電所内わくわくランド ☎4722

善意めぐらう

◆地域福祉基金へ
・故荒清子さん(明地)より10万円/遺志として
・故藤宗信さん(新地町)より10万円/故田邊邑子さん(明地)より10万円/故寺島市太郎さん(明地)より10万円/故寺島市太郎さん(明地)より10万円/故寺島市太郎さん(明地)より10万円/故寺島市太郎さん(明地)より10万円
◆スポーツ振興基金へ
・町民ゴルフ大会参加者一同より5万円
◆社会福祉協議会へ
・故加藤清美さん(新地町)より10万円/故藤宗信さん(新地町)より10万円/故田邊邑子さん(明地)より10万円/故寺島市太郎さん(明地)より10万円/故寺島市太郎さん(明地)より10万円/故寺島市太郎さん(明地)より10万円
◆新地ホームへ
●寄付・慰問
・小野俊文さん(小川)よりきゅうり50キロ/寺島幹雄さん(小川)

母と子の健康

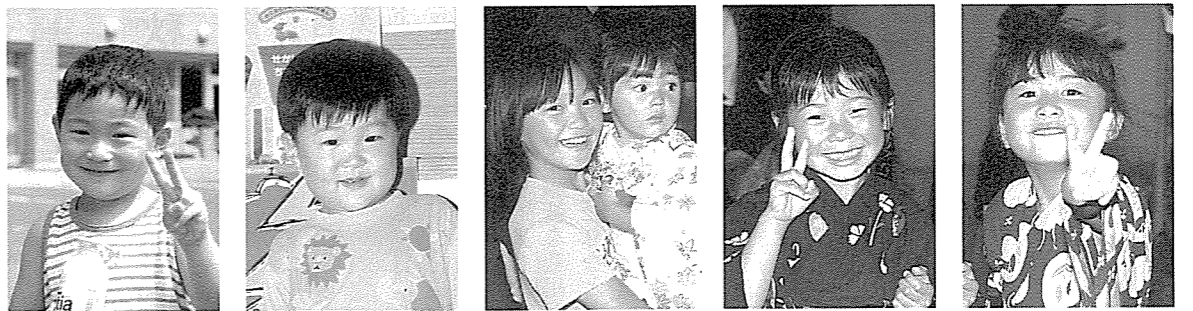
(9月19日～10月13日)

健康診査等	対象者	日(曜)	受付時間
母子手帳交付	妊娠とわかったらなるべく早く、母子健康手帳の交付を受けましょう	9/19(金) 10/3(金)	9時～10時
3ヶ月児健診	平成9年4月20日～6月21日生まれ	9/19(金)	13時～13時15分
10ヶ月児健診	平成8年12月～平成9年1月生まれ	10/13(月)	13時～13時15分

◎健診の場所は保健センター

水道業者修理当番

月日	業者名	電話番号
9月15日～21日	㈱桜井設備工業	☎2689
22日～28日	㈱トーヨー建設	☎7030
29日～10月5日	㈱加藤設備工業	☎3454
10月6日～12日	岡元設備工業	☎2483



スマップ

無料登記相談会

10月1日は「法の日」です。福島県司法書士会では登記や供託の手続き、訴訟書類の作成などについて無料登記等相談会を行います。

▼日時 10月4日(土) 午前10時～午後3時

▼会場 農村環境改善センター
▼相談内容は 不動産の相続・売買・保存などの登記、会社の設立・役員変更・増資などの登記、借地借家法に基づく手続き、家事審判手続きなどを中心に関連する様々なものをお受けします。

●問い合わせ 福島県司法書士会 ☎0245-75502

ご存じですか? 検察審査会



検察審査会とは、選挙権を有する国民の中から選ばれた十一人の検察審査員が一般の国民を代表して、検察官が裁判にかけなかったこと(不起訴処分)のよしあしを主な仕事とするところです。

ニュースポーツって何?

今年から始まったスポーツ教室、まだまだ町民の方は「ニュースポーツって何?」と言う人が多いと思います。そこで2回にわたりニュースポーツの説明をします。第1回目は以下のとおりです。

インディアカ は羽根のついたボールを直接片手で打ち合う競技で、1チーム4名、コートはバドミントンのコートと同じで、レシーブ、トス、スパイク、ブロックとルールはバレーボールとあまり変わりません。

ティーボール は野球やソフトボールと違いピッチャーがいません、バッティングティーにボールをのせ、静止したボールを打つので誰もが打つ楽しさを味わえる事ができます。1チーム6～10名で少人数でもゲームが楽しめます。

ゴルフボールはゴルフボールに羽根をつけたシャトルボールをゴルフクラブで打ち、パラソルを逆にしたような形のゴールへボールを打ち入れる競技で、ボールは飛距離がでないため狭い場所でもゴルフを楽しむことができます。

詳しく知りたい方、参加してみたい方は、新地公民館(☎62-2085)まで連絡ください。

育児・介護 雇用安定助成金

育児・介護雇用安定助成金は、育児や家族の介護を行う労働者の仕事と家庭との両立を支援するための措置を講じた事業主に對して支給されるものです。平成9年度より、事業内容が拡充され、介護休業制度及び介護のための勤務時間短縮等の措置が事業主に義務付けられる平成11年4月1日までに、介護の

20日	工場立地審議会
19日	遊海しんち97実行委員会
16日	新地ホーム夏まつり
15日	成人式、杉目盆踊り大会
14日	沢口カラオケ大会
13日	城内夏祭り盆踊り大会、町内施設めぐりと懇談会
10日	吉川コレクション展セレモニー
9日	ふるさと従兄弟スポーツ祭
8日	土地連第二回理事会
7日	新地北工業団地安全祈願祭
5日	相馬地方市町村議会議員ソフトボール大会
4日	市町村職員共済組合健康優良組合員表彰
3日	県消防操法競技相双方大会
2日	遊海しんち
1日	新地・山元町交流ゲートボール大会、広域水道企業団理事会
30日	福島県港湾整備促進大会
29日	新地町・相馬市・丸森町議員ソフトボール大会
28日	電源地域開発促進期同盟会総会、相馬港建設促進期同盟会総会
26日	青少年健全育成町民会議少年の主張大会
25日	町内施設めぐりと懇談会
24日	県土地連副会長会議
22日	健康増進教室
7日	健康増進教室

町長日記 荒和英

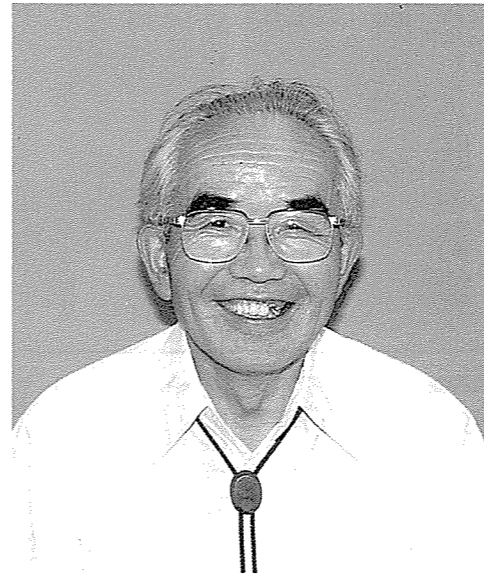
人・いきいきライフ

6

「子供からお年寄りまで多くの皆さんに支えられて、こまめやうってこれました」と笑顔で話す水品福秋さん(釣師)。

三十六年間の教員生活を終えた後、町教育委員や教育委員長、行政相談員などを歴任。現在は、町社会福祉協議会で老人クラブ指導員として活躍中です。「水品先生から声をかけられると、なにをさても出掛けるんですよ」という多くの声がお年寄りの方から聞かれます。そのあ

奉仕の精神で生きる



水品福秋さん (71歳・釣師)

りあまる情熱が新地町老人クラブだけで収まらず、相馬郡老人クラブの事務局も務め、明るく生きがいのある長寿社会の実現を目指して幅広く活動しています。

「老人クラブといえばゲートボールをして、湯に浸かっているイメージを持っていると思いますが、老人クラブの役割は、今まで培って来た技術などを生かして、仲間との健康維持活動、例えば、シルバードダンス、輪投

げなどの場の提供やボランティア活動にあります。九月二十日には『全県一斉社会奉仕の日』として、神社や寺、道路や海の清掃活動を予定しているそうです。「いつでも奉仕の精神を忘れてはいけない、自分のためだけでなく、他人のことも考えて行動するようにすれば、何事にもやる気が違ってくると思います」。

常に明るくふるまう水品さんですが、戦後シベリアに抑留され四年間にわたり厳しい寒さの中、満足な食料もなく、厳しい作業を強いられた体験を持っています。「人生観が変わりましたね。それまでは人前で自分を出すのが苦手だった私ですが、厳しい中を生き抜くにはプラス指図でない」と駄目だと実感しました。「抑留時代、仲間たちと一緒に国を思い歌を唄い踊ったそうです」。

現在は釣師で奥さんの寛子さん二人暮らし。踊りや絵、習字など趣味の活動も多才な水品さんは、七十一歳にしてまだまだ力がみなぎっている様子。健康の秘訣は、との問いに「仕事を持って、毎日自転車や徒歩で通勤していることかな」という答えが返ってきました。

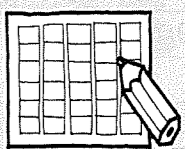
母の文芸

◆野ぶどう会

揚げ茄子の濃き紫をめで、て喰ぶ
炎天や一雨ほしい合言葉
うたたねや風鈴の音の止まぬま、
名木をジツと見ている夏帽子
年若く身内の訃報真夏の日
ほんのりと粧う紫陽花片いくほ
触れし手にボタリと落ちる花カツラ
雨一過涼しき月の昇りけり
喪の家の道しるべあり大暑かな
つい拾ふやさしき色よ小梅かな
脱がれたるま、吹かれをる蛇の衣

◆短歌教室

独り身の明け暮れにしてわが生をいそしむことが習ひとなりぬ
この夏の日和に稲穂出揃ひて窓さやさに風通りゆく
七十路になりてて金婚式迎ふ美しき里に住む幸思ふ
蟬の羽ふたひらみひら落ちてをり朝の庭辺に落葉のごとく
毎曇野に「農の生け花」の友ら集ひ氏具に花をいけて楽しむ
荒 資農夫
八島 フミ子
佐藤 とし子
目黒 美津英
水戸 てい子



最近、ゴルフを始めました

大須賀 正巳さん (20歳・上ノ町)



「道路をつくる仕事をしています。草の茂った原っぱに道をつくり、その道を多くの人に利用してもらえるところらしいですね」新和工業に勤め二年目の大須賀正巳さん。測量や整地など土木関係の仕事をごなし、日焼けしたその腕は太くたくましく見えます。「中学のころは柔道をやっていました。だから力仕事には自信があります。でも仕事現場ではまだまだ半人前。早く一人前の仕事をこなせるようになりたいですね」と話す大須賀さん。仕事で使う機械の操縦免許も取得したそうで、仕事に対する熱意を感じます。

砂遊びが大好きな風渡くん。今年の夏は海に遊びに連れて行ってもらうい、たくさん砂遊びをしました。ママと一緒に海にも入りました。でも



木 幡 風 渡 くん (1歳7ヶ月・新地町)



波が来ると、ちよつと怖かったそうです。お母さんは「来年の夏も楽しい思い出をたくさん作ってあげたいです」と話していました。

さわやかさん



加藤 友里恵さん (S52. 10. 5生まれ・杉目)

福大教育学部2年生の友里恵さん。「小学校の先生になるのが夢」と爽やかな笑顔で話してくれました。8月15日のお盆成人式では新成人を代表し、答辞を述べました。

○成人式を終えた今、どんな感想をお持ちですか？

☆壇上に上がった時は緊張しましたが、一生に一度しかない成人式なので(答辞を)読ませていただいて、思い出に残り本当に良かったと思っています。

○農村環境改善センターで開かれた『吉川コレクション展』も見たそうですね。

☆私も美術館によく行くのですが、見ていると感じるものがあって、新地町でもこんなにすばらしい展示会があるので、もっと多くの人が見てくれると、心の豊かな生活が送れるのではないかと思います。

○趣味は何ですか？

☆のんびりと読書をしたり、音楽を聞いたりしているのが好きですね。でも、大学に入ってから野球部のマネージャー(8人います)として、スコアつけや、ボール拾いなどを行っています。最近、友達の影響でアウトドアなどに興味を持つようになりましたね。

○理想の男性のタイプは？

☆一緒にいて楽しいと思える人がいいですね。有名人でいうとオリックスのイチロー選手です。

○あなたが町長になったら何をしたいですか。

☆発展してほしいという気持ちはありますが、やみくもに開発しないで、今のままの自然の良さを残して行ってほしいですね。むしろ文化的な発展を望みますね。

散歩道



新地駅猫物語

いつごろからか新地駅に一匹の猫が住み着き、話題になっていました。「あの猫は駒ヶ嶺駅にいたが、無銭乗車をして、新地駅に降りたらしい」「相馬で見かけた人もいる」といった噂つきで。

駅に出かけてみると、猫は椅子の上で昼寝中。コロコロとよく太った茶色のオスの唐猫で、性格もおだやかそう。舎内から流れるクラシック音楽を聞き、気持ち良さそうに昼寝を楽しんでいました。

駅長の三宅信一さんの話では、この猫は去年の冬から住み着き、たちまち人気者になり、毎日熱心にエサを運んでくれる通勤客もいて、キヤットフードやご飯、焼き魚、牛乳などバランスのとれた食事をしていくそうです。

「エサをくれる人が帰る時間には、跨線橋を渡ってデッキまで迎えにく賢い猫ですよ」とタクシーの運転手さんも絶賛。「夜、無人駅なので一人で降りた時など不安な気持ちになりますが、この猫がいるとホッとします」と話す女子高校生など…。

殺伐とした事件が世をにぎわす昨今ですが、新地駅周辺はこの猫を囲んで、温かい関係が生まれています。クノラクと名付け呼んでいる三宅さんは、「飼い主が転勤で置いていった猫かもしれないが、この入り猫が幸せを呼ぶ招き猫になつてくれれば」とかわいがっていました。

こちら編集室



▼ある会議で中国茶の講演を聞いた。様々な中国茶を試飲しながらの講演はまったく飽きさせない。こういう講演の仕方もあるのだなと思った。▼「遊海しんち」のゲスト歌手中川明氏と酒を飲み、同世代だけに好きな歌の傾向が一緒に話しが弾んだ。車の中で彼の歌を聞いている。▼かつて広報を担当したばかりのころ、私は齋藤研氏から「後まで残る文章は余分な言葉を削ること」とアドバイスを受けたことがある。難しいことだが、「吉川コレクション」展は、私なりに背筋を伸ばして書かせていただいた。▼坂元郁夫氏が絵の個展を開いているというのでK村を訪ねた。こんな山奥まで見に来る人がいるのかと危惧したが、多くの人達でにぎわっていた。氏はギターを弾き唄い、実に楽しそうだった。▼皆、人生を味わいながら生きている…。(倉)

★先日、老人クラブの輪投げ大会の取材に行きました。会場には大勢のお年寄りが集まっていた。盛んな盛り上がりを見せていました。とにかくみなさん、よく笑います。輪投げが成功しては笑い、失敗してもまた笑い、見守る仲間も一緒に笑い。とにかく笑いが絶えませんでした。この笑いが健康の秘訣なんだと感じました。(佐)

人の動き

- 人口/9,092人 (-5人)
男/4,455人 (-5人)
女/4,637人 (±0人)
- 世帯数/2,372世帯 (+4世帯)
8月1日現在 ()は前月比

今月の納税

- 国民健康保険税 第3期分
- 国民年金 9月分